



■総会レポート

●5月26日(木)

福井県本部 (事務局：福井放送)

「あいさつ運動推進協力校」を支援のない市に新たに3校を指定した。また、青少年の豊かな心づくりを目指す福井県での講演は、中央本部の紙芝居講師で、作文コンクール審査員もつとめる宮島盛隆氏(白百合大学講師)。子どもたちの心を育むため、運動の重要性和地域の大人の役割について語った。永年の教職生活で培った、笑いと実体験に基づく話は、会場を共感で満たした。

●6月13日(月)

東京都 武蔵野市支部 (事務局：多摩信用金庫)

同支部の総会では毎年、実行章が贈呈される。何より、推薦者が出席するのが全国でも珍しく、推薦者の

感謝の気持ちを、直接受章者に伝えられる貴重な機会となっている。また総会後の懇親会では、永年、慰問活動等に尽力しているとして実行章を受章した、津軽三味線のグループ「ジョージ ジョングラ」が、迫力ある演奏を披露した。

●6月14日(火)

広島県本部 (事務局：もみじ銀行)

伊勢志摩サミット終了後、米国大統領を迎えた広島県。森本県代表は、広島県内のクリーン大作戦をふり返り、「ごみの量は年々減っている。また、ごみを捨てることで『ごみを捨てない』という心を作る情操教育にも役立つ」と語った。ここでも、宮島盛隆氏(白百合大学講師)が講演を行い、子どもとの接し方や教育論に、子どもを持つ出席者は熱心に耳を傾けていた。

●6月25日(土)

埼玉県 与野支部 (事務局：有限会社サンキ)

昨年、代表と事務局が一新され、役員世代交代が行われた同支部。新役員では初めての総会を開催。PTAの協力もあり、地域ぐるみで子どもたちの心を育てる活動に力を入れている。今年の実践協力校には与野八幡小学校が指定され、「小さな親切」

第5回 発表!

「おとなの作文」 育む孫心

秋田県 今野芳彦(69歳)

ソファに腰掛け、テレビを見ている家内が手を上げたのを確認する。トイレへの合図で、足腰に錆が出て動作の鈍い身でも、この時だけはオッコラショと気合を入れて踏み出すものの、気持ちと足が噛み合わずよろけてしまい、それなりの年齢を自覚させられる。

長い間、私を支えてくれた大黒柱が腰痛で難儀をしている。そんな家内の手を肩に置き、腰を支えてトイレへと急ぐ。中から、「ありがとう」と低い声が漏れ、「何も言わなくてもいい」と叱ったのを、排水音が軽く消し流した。

小学3年生の孫がそばにいる時は、嬉しそうに孫に連れて行ってもらうことができるだけ体重を孫にかけないように踏ん張って歩き、「しっかり寄り添い、トイレまで歩めるのが至福の時だ」と言う。年寄りにはトイレが近く、頻繁に誘われても付き合ってくれる孫に目を細めている。今日は、孫が遠足用の菓子を買いたいと言うので付き合うことにした。

近所の方に、「孫と散歩かい。いいねえ」と言われる度に軽く会釈を返すが、多くの人から声をかけられると、少子高齢化を叫ばれる中、孫と一緒に過ごしている当たり前のことが、何かすごいことのように思えて、心も軽くなり、引きずり歩いていた足をしっかりと蹴り上げて踏み出す。

遠足のお小遣いが500円なのを思い出し、釣り銭の500円硬貨を「ばあちゃんの気持ちだから」と手渡す。帰り道、「じいちゃん、ばあちゃん、貧困だよ」と難しいことを言われ、心臓が慌てふためきドッキンドッキン波打つ。学校で習ったのだろうか、裕福とはいえぬ薄い年金で厳しいが何とか凌いでいる身なので、「まあまあだ」と答えておく。

遠足の日、帰ってくるなり、「じいちゃん、ばあちゃん、楽しかったよ。ぼく、こつこつこれでこれ買った」と、自慢げに万華鏡を見せてくれ、私らにも、「これお土産、半分こしてねと、100円のおみくじを渡される。

「どうもありがとう」と礼を言い、おみくじを開いて、「バンザイ、中吉だ」と叫ぶ家内。

中吉の半分こは、小吉ってことか。50円で得た小吉の運を大事にしないとなあ。そんな話をしていると、「じいちゃん、貧困でなくて金婚だった」と言われた瞬間、卑屈に曲がった心

棒がシャキッと伸びた。

そうか、うちら金婚か。家内の介護に自分の体調管理と、気持ちがあしく考えてもいなかったが、貧困で金婚で重ね消す小さな小さな孫心が大きく育っているのが嬉しく、三人顔を見合わせて微笑む。

の実践に取り組む。例年2月開催の「ついで」での活動発表が楽しみである。また、総会後には、熊本地震災見舞金の呼びかけや、はがきキャンペーンの告知、コスモス種子の配布も行われた。

深いことから、温かい話題をリスナーに届けようと、自身が選んだ、作文コンクールやはがきキャンペーンの入賞作品を紹介している。

●熊本シティエフエム(FM79.1)

●番組名「心に届く小さな親切」

●時間 月々木、7:30〜5分程度
県本部で作文コンクールを主催し、多くの学校から応募がある熊本県は、心温まる優秀な作品が多い。同番組では県内の入賞作品を紹介。(平成28年1月4日〜3月31日) 全国入選の5作品は本人が朗読した。現在は、ホームページから朗読を聴くことができる。

☆ホームページ <http://www.fm79.1.jp/reading.htm>

■はがきキャンペーン作品募集

第32回「小さな親切」はがきキャンペーンの作品を募集します。子どもから大人までが対象です。
【テーマ】次の二つから選択してください。

- 心から伝えたいありがとう
- 「やだなー」自分だったら...

【応募方法】「はがき」や「メール」で応募できます。

テーマにそった体験とタイトル・住所・氏名(ふりがな)・年齢・職業(学校名)・電話番号を明記。なお、

メールは運動本部のホームページの専用応募ページから電子メールを使用。字数は600字以内・タイトル20字以内で、メールアドレスを明記。〒101-0061東京都千代田区三崎町2-20-4、公益社団法人「小さな親切」運動本部はがきキャンペーン係へ。

【締め切り】9月23日(金) 当日消印有効

【入賞発表】11月上旬、読売新聞紙上他

【表彰式】11月26日(土)
※詳細はホームページ(<http://www.kindness.jp>)をご覧ください。

■運動本部でも種まき！
運動スタートの日である6月13日、

秋には、6階事務所のベランダにコスモスの花が咲くことを夢見て、職員がコスモス種子を植えました。3〜

4日で早くもかわいらしい双葉が。

【県本部新代表就任】6月末現在
北海道本部代表 相馬道広様
(北海道電力株式会社取締役常務執行役員)

【寄附金御芳名】(敬称略) 4月〜6月末
「小さな親切」運動行橋支部
廣松富夫・阪口繁昭・黒澤嘉子・清水俊昭・宮田二美・小林和明・薬本光明

■次号は11月1日発行に変更します
夏季には事業など活動が少ないことから、例年10月1日だった発行日を11月1日に変更。

■お詫びと訂正
春号8頁下段の写真説明に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げます。「有賀先生の見本作品」お口バクバクカードは、正しくは「回転円盤お化け百面相」児童作品です。